



平成28年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成27年9月28日

上場取引所 東

上場会社名 DCMホールディングス株式会社
 コード番号 3050 URL <http://www.dcm-hldgs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 久田宗弘

問合せ先責任者 (役職名) 財務統括部長

(氏名) 熊谷寿人

TEL 03-5764-5214

四半期報告書提出予定日 平成27年10月8日

配当支払開始予定日

平成27年11月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	221,657	2.4	11,814	0.4	11,478	0.7	6,775	0.4
27年2月期第2四半期	227,055	1.5	11,765	9.7	11,554	7.9	6,803	7.0

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 7,960百万円 (17.9%) 27年2月期第2四半期 6,752百万円 (5.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年2月期第2四半期	49.21	
27年2月期第2四半期	49.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	371,266	168,259	45.3
27年2月期	349,991	157,071	44.9

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 168,259百万円 27年2月期 157,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年2月期		10.00		10.00	20.00
28年2月期		10.00			
28年2月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	446,200	3.6	18,000	8.3	17,700	8.9	10,200	13.2	74.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期2Q	142,055,989 株	27年2月期	139,808,949 株
期末自己株式数	28年2月期2Q	1,167,063 株	27年2月期	3,787,006 株
期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期2Q	137,672,915 株	27年2月期2Q	138,283,176 株

(注)自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の所有する当社株式が含まれております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10
4. 補足情報	12
商品別売上情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策、金融政策を背景に緩やかな回復基調が見られましたが、欧州債務問題や新興国の経済情勢による景気下振れリスク、また米国の金融政策の影響など、先行きについては不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、円安による物価上昇や消費者の節約志向などにより個人消費の動向は不透明さを増し、また業態を超えた販売競争もあり、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については16店舗、退店については9店舗を実施いたしました。また平成27年7月1日に(株)サンワドー(同日付けにてDCMサンワ(株)に商号変更)を株式交換により完全子会社化いたしました。これにより当第2四半期連結会計期間末日現在の店舗数は600店舗(DCMカーマ152店舗、DCMダイキ160店舗、DCMホームマック254店舗、DCMサンワ34店舗)となりました。

なお、DCMサンワ(株)については、みなし取得日を平成27年8月31日とし、当第2四半期連結累計期間においては貸借対照表のみ連結しております。

販売面においては、3月は昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動で日用消耗品を中心に需要は大きく落ち込み、また夏場は天候不順の影響もあり季節商品の販売が低迷しましたが、DCMブランド商品については、チラシ掲載やテレビCMなど販促強化に取り組んだ効果もあり、販売が好調に推移しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は2,216億5千7百万円(前年同期比97.6%)、営業利益は118億1千4百万円(前年同期比100.4%)、経常利益は114億7千8百万円(前年同期比99.3%)、四半期純利益は67億7千5百万円(前年同期比99.6%)となりました。

また、(株)カーマ、ダイキ(株)、ホームマック(株)は、平成27年3月1日付けでDCMカーマ(株)、DCMダイキ(株)、DCMホームマック(株)に商号変更いたしました。当社の社名である「DCM」と事業会社が持つ地域ブランドを融合させ、事業会社名及び店舗名に「DCM」を冠し、今後は「企業ブランド」「商品ブランド」「店舗ブランド」を統一したナショナルブランドとして全国展開を進めてまいります。

なお、セグメントごとの業績については、9ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

(主要商品部門別の状況)

園芸・エクステリア部門

園芸用品は、天候不順による影響もありましたが、DCMブランド商品の植物や用土、除草剤などの販売が好調に推移し、また販売強化に取り組んだ充電式草刈機も大幅に伸長しました。その結果、売上高は430億3千1百万円となりました。

ホームインブルーメント部門

工具、作業用品については専門店を中心に堅調に推移しました。またDCMブランド商品の作業用品や安全靴などの販売も好調でした。その結果、売上高は402億2千9百万円となりました。

ホームレジャー・ペット部門

カー用品や自転車の販売については、昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり伸び悩みましたが、ペット用品については、堅調に推移しました。その結果、売上高は348億6千4百万円となりました。

ハウスキーピング部門

DCMブランド商品のフライパンやスリッパ、圧縮袋などは、販促に取り組んだ効果もあり販売が好調に推移しましたが、日用消耗品については、昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動により需要は落ち込みました。その結果、売上高は577億4千3百万円となりました。

ホームファニッシング部門

カーペットや組立家具などの高額品の販売については伸び悩みましたが、タオルやプラスチック収納、床材などの販売が好調に推移いたしました。その結果、売上高は168億7千5百万円となりました。

ホームエレクトロニクス部門

昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり、調理家電、照明器具などの販売は伸び悩みました。その結果、売上高は165億9千7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は、新規出店やDCMサンワ(株)が連結対象会社に加わったことなどにより商品在庫および有形固定資産や投資有価証券などが増加したことから、資産合計は前連結会計年度末に比較して212億7千5百万円増加し、3,712億6千6百万円となりました。

負債残高は、DCMサンワ(株)が連結対象会社に加わったことによる負債の増加や長期運転資金の借入などから、負債合計は前連結会計年度末に比較して100億8千6百万円増加し、2,030億6百万円となりました。

純資産残高は、DCMサンワ(株)の株式交換に伴う資本剰余金の増加や四半期純利益の増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して111億8千8百万円増加し、1,682億5千9百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益108億9千5百万円、減価償却費53億3百万円、仕入債務の減少額127億9千6百万円、法人税等の支払額44億8千万円などにより、53億4千8百万円の支出となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、新規出店などの有形固定資産の取得による支出72億7千1百万円、敷金及び保証金の回収による収入11億円および差入による支出9億3千1百万円、(株)ホームエキスポの株式取得に伴う支出26億7千5百万円などにより、100億9千2百万円の支出となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、短期借入金の増加額94億円、長期借入れによる収入200億円および返済による支出105億5千4百万円、配当金支払いによる支出13億6千1百万円などにより、174億5千2百万円の収入となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は前連結会計年度末に比べ20億1千万円増加し、161億3千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の連結業績予想につきましては、平成27年4月10日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から営業収益の修正を行っております。

営業収益については、最近の販売動向から既存店の売上高は当初予想を下回る見込みですが、DCMサンワ(株)の完全子会社化に伴い、当初予想を71億円上回る4,462億円に修正いたしました。販売費及び一般管理費については、新たにDCMサンワ(株)の経費が増加する見込みですが、より一層の経費削減に努めてまいりますので、営業利益、経常利益、当期純利益の見込みに変更はありません。

なお、連結業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社には該当しておりませんが、当第2四半期連結会計期間より、DCMサンワ(株)を株式交換により完全子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、当実務対応報告適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理については、従来採用していた方法を継続するため、当実務対応報告の適用による四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,137	16,100
受取手形及び売掛金	4,117	6,861
リース投資資産	2,356	2,305
有価証券	-	67
商品	82,759	85,264
繰延税金資産	1,892	1,085
その他	6,054	5,544
貸倒引当金	-	0
流動資産合計	111,317	117,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	173,826	184,988
減価償却累計額	96,538	103,686
建物及び構築物(純額)	77,287	81,301
土地	75,515	79,579
リース資産	9,759	12,278
減価償却累計額	1,460	2,064
リース資産(純額)	8,299	10,213
建設仮勘定	2,989	2,442
その他	28,549	30,425
減価償却累計額	22,037	23,559
その他(純額)	6,511	6,866
有形固定資産合計	170,603	180,403
無形固定資産		
のれん	2,550	1,790
借地権	6,177	6,291
ソフトウェア	3,281	3,391
その他	203	252
無形固定資産合計	12,211	11,725
投資その他の資産		
投資有価証券	9,918	13,052
敷金及び保証金	40,922	42,831
繰延税金資産	1,120	1,779
長期前払費用	2,885	3,025
その他	1,073	1,286
貸倒引当金	61	68
投資その他の資産合計	55,859	61,908
固定資産合計	238,674	254,037
資産合計	349,991	371,266

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	-	49,074
買掛金	59,052	-
短期借入金	26,800	36,950
1年内償還予定の社債	-	180
1年内返済予定の長期借入金	21,109	22,981
リース債務	249	427
未払法人税等	4,488	3,258
繰延税金負債	3	-
賞与引当金	2,390	1,164
ポイント引当金	435	555
その他	18,664	12,834
流動負債合計	133,195	127,426
固定負債		
長期借入金	39,908	52,479
リース債務	9,142	11,046
繰延税金負債	913	1,415
再評価に係る繰延税金負債	207	188
役員退職慰労引当金	-	66
退職給付に係る負債	60	467
資産除去債務	1,426	1,706
長期預り金	5,228	5,179
その他	2,837	3,029
固定負債合計	59,725	75,580
負債合計	192,920	203,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	41,603	44,276
利益剰余金	107,515	112,930
自己株式	2,390	476
株主資本合計	156,728	166,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,265	3,493
繰延ヘッジ損益	6	55
土地再評価差額金	1,928	1,908
その他の包括利益累計額合計	343	1,528
純資産合計	157,071	168,259
負債純資産合計	349,991	371,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	224,076	218,588
売上原価	155,137	149,326
売上総利益	68,938	69,261
営業収入		
不動産賃貸収入	2,979	3,068
営業総利益	71,918	72,330
販売費及び一般管理費	60,153	60,515
営業利益	11,765	11,814
営業外収益		
受取利息	122	120
受取配当金	90	99
為替差益	96	125
その他	286	202
営業外収益合計	594	549
営業外費用		
支払利息	678	797
支払手数料	110	16
その他	16	71
営業外費用合計	805	885
経常利益	11,554	11,478
特別利益		
固定資産売却益	0	65
受取補償金	17	-
その他	-	6
特別利益合計	17	71
特別損失		
固定資産除売却損	207	518
減損損失	48	86
その他	33	48
特別損失合計	289	654
税金等調整前四半期純利益	11,282	10,895
法人税、住民税及び事業税	4,381	2,907
法人税等調整額	97	1,213
法人税等合計	4,478	4,120
少数株主損益調整前四半期純利益	6,803	6,775
四半期純利益	6,803	6,775

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,803	6,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	1,227
繰延ヘッジ損益	12	62
土地再評価差額金	-	19
その他の包括利益合計	51	1,185
四半期包括利益	6,752	7,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,752	7,960
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,282	10,895
減価償却費	5,307	5,303
減損損失	48	86
のれん償却額	-	44
負ののれん償却額	16	-
賞与引当金の増減額(は減少)	187	1,264
受取利息及び受取配当金	212	220
支払利息	678	797
固定資産除売却損益(は益)	207	453
売上債権の増減額(は増加)	1,678	2,425
たな卸資産の増減額(は増加)	1,079	1,290
仕入債務の増減額(は減少)	17,383	12,796
その他	3,988	3,637
小計	37,881	1,471
利息及び配当金の受取額	212	220
利息の支払額	675	798
法人税等の支払額	3,263	4,480
法人税等の還付額	843	1,181
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,997	5,348
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	8,787	7,271
有形固定資産の売却による収入	0	181
無形固定資産の取得による支出	485	996
敷金及び保証金の差入による支出	604	931
敷金及び保証金の回収による収入	1,464	1,100
貸付金の回収による収入	32	70
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	2,675
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	575
その他	198	146
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,579	10,092
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	20,600	9,400
長期借入れによる収入	24,500	20,000
長期借入金の返済による支出	10,496	10,554
自己株式の取得による支出	0	2
配当金の支払額	1,383	1,361
その他	100	28
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,081	17,452
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	18,336	2,010
現金及び現金同等物の期首残高	12,035	14,123
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,372	16,134

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株式交換

当社は、平成27年7月1日付けで当社を株式交換完全親会社、DCMサンワ(株)を株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が2,673百万円増加し、自己株式が1,868百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	68,010	55,980	102,863	201	227,055	-	227,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	2	1	22,166	22,170	22,170	-
計	68,010	55,982	102,865	22,367	249,226	22,170	227,055
セグメント利益	3,649	1,973	6,228	2,126	13,977	2,211	11,765

(注)1. その他は、DCMホールディングス(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	DCMカーマ (注)4	DCMダイキ (注)4	DCMホームマック (注)4				
営業収益							
外部顧客への売上高	68,954	52,360	99,835	506	221,657	-	221,657
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	2	3	24,150	24,155	24,155	-
計	68,954	52,362	99,839	24,656	245,813	24,155	221,657
セグメント利益	3,654	2,156	5,996	1,408	13,216	1,402	11,814

(注)1. その他は、DCMホールディングス㈱における取引等です。

2. セグメント利益の調整額 1,402百万円には、セグメント間取引消去 1,418百万円、その他16百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 第1四半期連結累計期間より、商号変更に伴い報告セグメントの名称を変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の名称で記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「DCMカーマ」セグメントにおいて、前連結会計年度に㈱ホームエキスポの株式取得に伴い暫定的に算出されたのれん2,582百万円を計上しておりましたが、取得原価の配分が完了したことにより、802百万円減少しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1)被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社サンワドー(以下、「サンワドー」)

事業の内容 ホームセンター事業等

(2)企業結合を行った理由

ドミナント強化による事業基盤の強化及びスケールメリットを活かした仕入コスト低減並びに商品調達力強化によるサンワドーの収益性の改善

(3)企業結合日

平成27年8月31日(みなし取得日)

(4)企業結合の法的形式

当社を株式交換完全親会社とし、サンワドーを株式交換完全子会社とする株式交換

(5)結合後企業の名称

DCMサンワ株式会社

(6)取得した議決権比率

100%

(7)取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が株式を対価としてサンワドーの全株式を取得したためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末である平成27年8月31日としているため、当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書には、被取得企業の業績は含めておりません。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価（企業結合日に交付した普通株式の時価）	4,542百万円
取得に直接要した費用（アドバイザー費用等）	31
取得原価	4,573

4. 株式の種類別の交換比率及びその算定方法並びに交付した株式数

(1) 普通株式の交換比率

当社の普通株式1株：サンワドー0.9株

(2) 株式交換比率の算定方法

当社はマクス・コーポレートアドバイザー株式会社を、サンワドーは野村證券株式会社をそれぞれ第三者機関として選定して株式交換比率の算定を依頼し、その算定結果を踏まえて、両社協議の上決定しております。

(3) 交付した株式数

普通株式 4,751,502株（うち自己株式割当交付 2,504,462株）

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

88百万円

(2) 発生原因

被取得企業の取得原価が企業結合時の被取得企業の時価純資産額を上回ったため、その差額をのれんとして処理しております。

(3) 償却方法及び償却期間

1年間の定額法

4. 補足情報

商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第2四半期 連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自平成26年3月1日 至平成27年2月28日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸・エクステリア	41,755	18.6	43,031	19.7	66,816	15.7
ホームインブルーブメント	39,275	17.5	40,229	18.4	77,878	18.3
ホームレジャー・ペット	35,276	15.8	34,864	15.9	64,159	15.1
ハウスキーピング	61,253	27.3	57,743	26.5	116,412	27.5
ホームファニッシング	16,949	7.6	16,875	7.7	32,305	7.6
ホームエレクトロニクス	19,668	8.8	16,597	7.6	45,551	10.7
その他	9,897	4.4	9,245	4.2	21,588	5.1
合計	224,076	100.0	218,588	100.0	424,713	100.0

(注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸・エクステリア	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、植物、エクステリア、屋外資材、住宅設備他
ホームインブルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、電材・照明、AV情報機器他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他